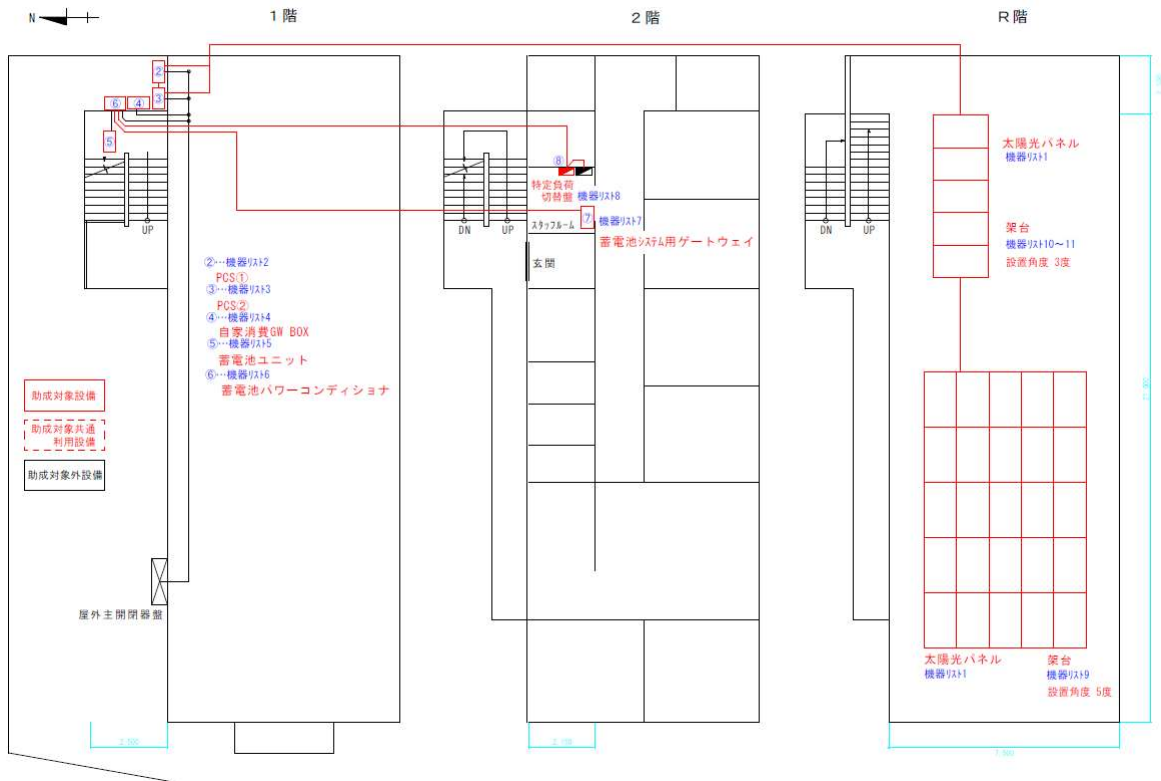


ケアホームにじの森に太陽光発電・蓄電池システムを導入しました

今年度、にじの会では5カ所の事業所（ケアホームにじ、にじの森、にじの空、にじアート、ワークショップハーモニー）で、太陽光発電・蓄電池システムを導入します。

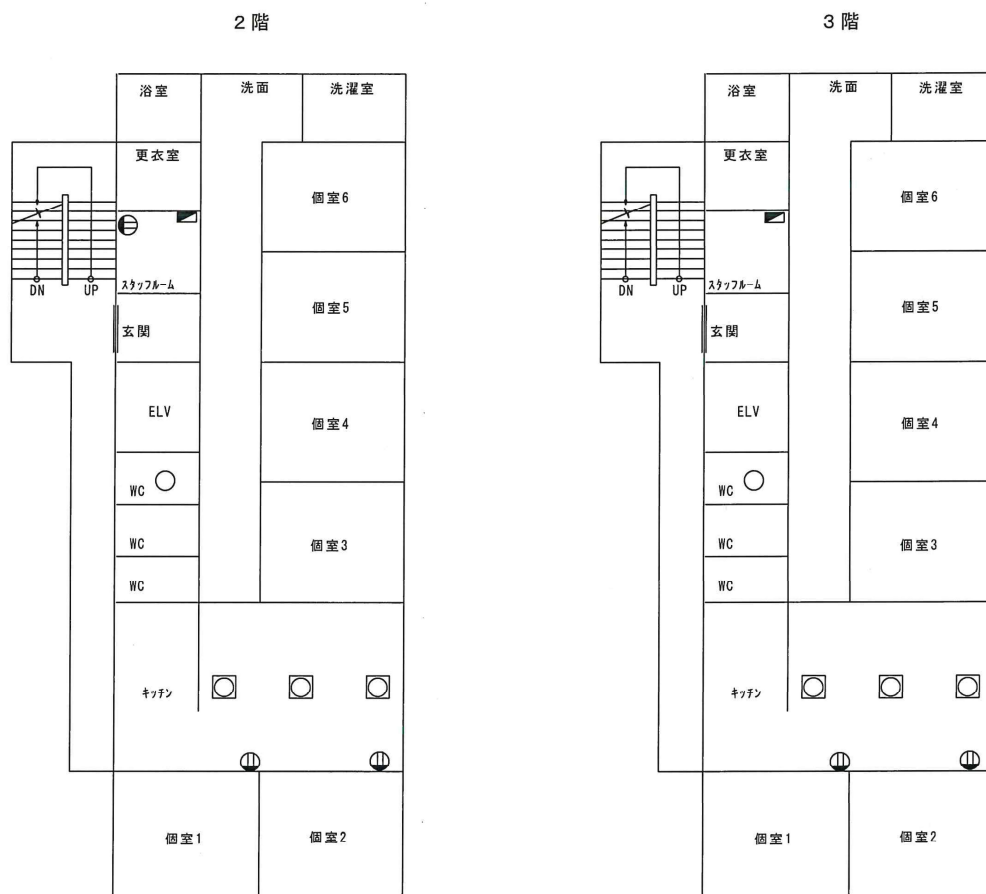
10月17日にケアホームにじの森の工事が完了し、運用を開始しました。

1、導入した設備の概要



設置場所	東京都調布市深大寺東町7-47-7	
モジュール	メーカー	XSOL
	型式	XLM120-380L
	枚数	30
	合計出力	11.4 kW
パワーコンディショナ	メーカー	オムロン
	型式	KPW-A55-2PJ4
	メーカー	オムロン
	型式	KPW-A55-2J4
	メーカー	オムロン
	型式	KPBP-A
蓄電池	合計出力	16.9 kW
	メーカー	オムロン
	型式	KP-BU164-S
	出力	16.4 kWh

2、停電時専用電源(コンセント、照明)の設置場所



3、導入の目的

本事業所は、知的障害者のみが居住するグループホームです。蓄電池システムを併設する太陽光発電システムを導入することにより、発電した電力の余剰分を夜間などに消費することで無駄なく電力を発電・消費できます。本事業は、当法人が目指す国連サミットで採択されたSDGsへの取り組みの1つと考えています。

また、想定される首都直下型地震等の大規模災害時に、障害者が公共の避難所に滞在することは困難なので、可能な限り本施設に留まることとなります。その際に非常用電源として使用します。

4、導入の効果

ケアホームにじの森では、これまでもリビングルームや廊下のダウンライトのLED化やその他の照明の間引き、また「水道光熱費点検表」を作成し、毎日の点検を実施したり、と省エネ対策を講じてきました。

今回の太陽光発電・蓄電池システムの導入による効果は、以下の通りとなります。

- ・事業所の年間電気消費量の約36%を発電することができる(試算)
- ・年間、約6,309kgのCO₂を削減(試算)
- ・年間で約40万円の電気料金の削減(試算)
- ・同時に導入した蓄電池による停電時の非常電源の確保
- ・屋根への直射日光低減による冷房の効率化

にじの会では、他の5事業所でも太陽光発電システムを導入しており、地球環境にとってもやさしい再生可能エネルギーで電力を賄うことで脱炭素社会を目指す世界に貢献します。